

練馬区の
地域活動団体などを
毎月紹介しています!



ねりま



地域活動ニュース

発行：練馬区立区民協働交流センター

vol.108

今月の紹介団体 ****



2面

NPO法人認知症サポート
センター・ねりま

及川 翔(おいかわ しょう) さん



3面

アトリエグレープフルーツ

井坂 奈津子(いさか なつこ) さん



つながるカレッジねりま

公開講座の聴講生を 募集します

つながるカレッジねりまは、地域で活動を始めたいと思う人が集い、学びやスキルアップ、地域とのつながりができる場です。カリキュラムの中から、次の講座を公開します。参加方法は、対面とオンラインを選べます。



「地域活動とコミュニケーション」

【日時】 5月30日(土) 10時~12時

【内容】 「地域活動とは何だろう」「私」を出発点として、地域活動の多様な特徴や、活動時のコミュニケーションについて考えます。

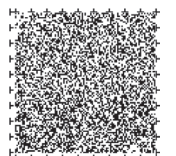
【講師】 志寒 浩二(おたがいさまの会代表)

【定員】 30名(先着順)

【申込み】 ①講座名 ②参加方法 ③氏名 ④電話 ⑤住所 ⑥メールアドレスを、5月26日(火)までにポータルサイト(<https://www.collegenerima.jp>)・電話・メールで協働推進課カレッジ担当係へ

【問い合わせ】 地域文化部協働推進課カレッジ担当係

TEL: 03-5984-1613 メールアドレス: kyodosuishin04@city.nerima.tokyo.jp



専用アプリのUni-Voiceを使用して右のコードを読み取ると記事の情報を音声で読み上げます。

音声コード

認知症と向き合う家族を支えたい

NPO 法人認知症サポートセンター・ねりま



理事の篠 文子さん(左)と柿島 香也子さん(右)

「認知症サポートセンター・ねりま」(サポ・ねり)は、区内の認知症家族会によって結成された「練馬認知症支援ネットワークの会」が法人化し、2015年に設立されました。認知症当事者の方やそのご家族などを支援するため、練馬区からの委託事業である「介護なんでも電話相談」を主な活動として行っています。傾聴講座を修了した介護経験のある相談員が介護の悩みを聞いたり、情

報提供をしたりしています。

「具体的な悩みはもとより、介護に直面しているが『何をどうしたらいいかわからない』

という悩みを訴える人が多いですね」と理事の篠さんは話します。じっくり話を聞いて状況を把握し、地域包括支援センターや高齢者支援窓口、無料法律相談など、適切な窓口へつなげています。悩みを抱えている方の多くが、孤立していると感じているため、「どんなことでも相談してほしい」と理事の柿島さんは言います。最近では理美容店などにもチラシを配布し、電話相談を周知しているそうです。

区内の街かどケアカフェや地域集会所で年8~10回開催している「介護相談・交流カフェ」も主な活動のひとつ。介護や医療の専門家による講演に参加できたり、介護の悩みな



年1回、介護家族の支援をする専門家やボランティア向けの交流会も開催

どを話し合ったりできる場です。

また、9月の認知症月間には、練馬区との共催で「認知症フォー

ラム」を開催。そのほか、認知症当事者の方やそのご家族が安心して日常生活を送るため、理解者・応援者を養成する「認

知症サポーター養成講座」への講師派遣など、活動は多岐にわたります。いずれも、認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活できること、介護者だけで抱え込まず、地域全体でサポートしていくことを目的としています。

今後の抱負について、昨年理事長に就任した及川さんから「練馬区の認知症支援に尽力したい。当事者やご家族、関係者の方々と笑顔と共感でつながる組織にしていきたいです」とメッセージをいただきました。

活動に興味を持った方、応援したいと思った方は、正会員・賛助会員への入会をぜひご検討ください。

■ NPO 法人認知症サポートセンター・ねりま
 理事長：及川 翔
 メール：saponeri26913@gmail.com



昨年の第18回 認知症フォーラムでは、「どこまでできる在宅医療」のテーマで講演が行われました

地域活動団体助成金等情報

助成内容や応募条件などは各助成金によって異なりますので、必ず事前に詳細を確認してください。募集要項・申請書類については、各ホームページからダウンロードしてください。

■ 公益財団法人 大同生命厚生事業団

「シニアボランティア活動助成」

【助成対象】 社会福祉の推進に役立つボランティア活動を行っている、または行おうとするシニア(満60歳以上)が80%以上のグループ

【助成金額】 1件あたりの上限額：20万円

【応募期限】 2026年5月18日

【関連URL】 <https://www.daido-life-welfare.or.jp/senior-volunteer.html>

【問い合わせ】 公益財団法人 大同生命厚生事業団 事務局 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-2-1 大同生命大阪本社ビル内
 TEL: 06-6447-7101 FAX: 06-6447-7102

■ 公益財団法人 みずほ教育福祉財団

「ボランティア活動資金助成事業」

【助成対象】 共に生きる地域づくりにつながるボランティア活動(高齢者・障がい児者・子どもの支援や居場所づくり)

【助成金額】 1件あたりの上限額：15万円

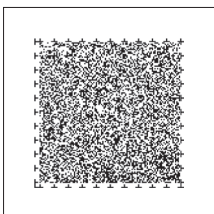
【応募期限】 2026年5月22日

【関連URL】 <https://mizuho-ewf.org/publicrecruitment>

【問い合わせ】 公益財団法人みずほ教育福祉財団 福祉事業部
 TEL: 03-5288-5903 FAX: 03-5288-3132

E-mail: fukushi@mizuho-ewf.org

※お問い合わせはできるだけメールで



音声コード

地域に開かれた自由な表現の場

アトリエグレープフルーツ



代表の井坂 奈津子さん(左)と
スタッフの下城 美由紀さん(右)

南大泉にある「アトリエグレープフルーツ」は美術の表現の場です。年齢やあり方もさまざまな約60名が通い、スタッフが一人ひとりの表現に伴走しています。

青山学院大学の名誉教授だった故・吉田廸子さんが「地域に開かれた学びと表現の場」を作りたいと、退官を機に吉祥寺の自宅を開放し、画家の小島頭一さん、代表の井坂さんと3人で2008年に立ち上げました。井

坂さんは福祉作業所で働いていた当時、「支援する側とされる側」という関係に息苦しさを感じていました。そんな時、ダウン症の方が描く絵に出会い、自身も美術を始める中で、お互いが一人の表現者でいられる、その心地よさに気づいたことがきっかけだったと振り返ります。

「私を含めて、誰もがいくつもの側面を持っています。教育でも福祉でもなく、美術の場で出会いたい。そんな思いがこの場所を形づくってきました」と話します。



アトリエ前の掲示ケースには、メンバーの作品が飾られ、道行く人たちの心を和ませています

待つように心がけています」と現場を支えるスタッフの下城さんは言います。

拠点を練馬区に移してから「地域に開かれた」という思いは受け継がれています。アトリエの一部をミニギャラリーとして開放し、企画展を行ったり、区内

のカフェや保育園などにメンバーの作品を無償で貸し出す「絵のあるところプロジェクト」も進行中です。

最近では、作品のデータを販売し、ふりかけのパッケージに採用されました。デザイン費はメンバーに還元されることで、絵を通じた社会的な関わりが生まれています。

「蓄積された作品たちは、地域にとっても価値のあるものとして、多くの人に見てもらいたいです」と井坂さん。今年8月25日から30日まで練馬区立美術館で「アトリエグレープフルーツ展」も開催されます。ぜひ足を運んでみてください。



絵の具、色鉛筆、サインペンなど思い思いの画材で制作に取り組みます。絵画だけでなく、ぬいぐるみ作りや木工に打ち込むメンバーもいます



「このアトリエは美術教室ではないので、『上手に描けること』を目的としません。スタッフ側が既存の枠を取り払い、それぞれが持つ自らの表現が現れるまで、じっと

■ アトリエグレープフルーツ

代表：井坂 奈津子

住所：練馬区南大泉4-33-11

メール：grapefruit.08@hotmail.co.jp

■ 公益財団法人 草の根事業育成財団「草の根育成助成」

【助成対象】 都内に拠点を有する非営利活動団体が行う次の事業

- ①障がい者、生活困窮者や事故、災害、犯罪等による被害者の支援を目的とする事業
- ②高齢者の福祉の増進を目的とする事業
- ③勤労意欲のある者に対する就労の支援を目的とする事業
- ④児童・青少年の健全な育成を目的とする事業
- ⑤教育、スポーツ等を通じて心身の健やかな表現と豊かな人間性を涵養することを目的とする事業
- ⑥文化及び芸術振興を目的とする事業
- ⑦地域社会、コミュニティの健全な営みを目的とする事業

【助成金額】 1件あたりの上限額：100万円

【応募期間】 2026年5月1日～5月16日

【関連URL】 <https://www.kusanoneikusei.net/>

[jyoseisinseiannai.html](https://www.kusanoneikusei.net/jyoseisinseiannai.html)

【問い合わせ】 公益財団法人 草の根事業育成財団 事務局

〒182-0024 調布市布田1-15-9 エスポワール・ヴェール403

TEL：042-427-4278 FAX：042-449-6942

■ 公益財団法人 公益推進協会「建設女子応援ファンド」

【助成対象】 建設業界の持続的な発展に向けて、建設業界で女性が働き続けられる「働きやすい」環境整備に関わる活動、建設業界で働くことを希望・検討している女性や若年層にむけたPR活動

【助成対象】 1件あたりの上限額：30万円

【応募期限】 2026年5月20日

【関連URL】 https://kosuikyo.com/wp-content/themes/standard_black_cmspro/img/kensetsujoshi2025_yokou.pdf

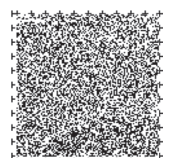
【問い合わせ】 公益財団法人 公益推進協会 建設女子応援ファンド担当 〒105-0004 港区新橋6-7-9

新橋アイランドビル2階

TEL：03-5425-4201（平日10時～17時）

E-mail：info@kosuikyo.com

※件名に「【問合せ】建設女子応援ファンド_団体名」を記載する





令和7年度 練馬つながるフェスタを開催しました!

令和7年6月から令和8年3月にかけて、区内6か所の会場で練馬つながるフェスタを開催しました。全6回のイベントを通じて、来場者数は約2,600名にのぼり、大盛況となりました。また、区内8か所の図書館などの区立施設で、区内の地域活動団体を紹介するパネル展を行いました。ご参加いただいた団体の皆様、ご来場いただいたお客様、ありがとうございました。



石神井公園区民交流センター



勤労福祉会館



パネル展の様子



ココネリホール①



ココネリホール②

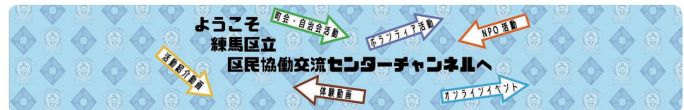
「練馬つながるフェスタ」は、町会・自治会、NPOやボランティア団体など地域で活動している皆様の取り組みを「見て! 聞いて! 知って!」たくさんの仲間と“つながる”ことができるイベントです。

団体PR動画公開中!

練馬つながるフェスタin練馬に向けて、区内で活躍する団体から、日頃の活動内容や活動理念を伝えるPR動画を募集し、当日は会場内2か所で、23団体のPR動画と10周年記念動画を放映しました。各団体等の動画については、区民協働交流センターのYouTubeチャンネルでご覧いただけます。



YouTubeチャンネル



練馬区立区民協働交流センターチャンネル

@nerima-kyodo チャンネル登録数252人・72本の動画
東京都練馬区にある、練馬区立区民協働交流センターのチャンネルです。...さらに表示
city.nerima.tokyo.jp/kyurashi/kusetsanka/kyodosusin/tunafes/2021/worksho...、他2件のリンク

チャンネル登録



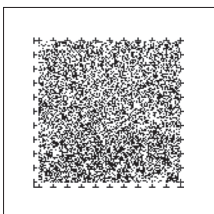
練馬区立区民協働交流センター(つながる窓口)

区民協働交流センター(つながる窓口)では、町会・自治会、NPO、ボランティア団体などの活動に関する相談を随時受け付けています。どうぞお気軽にご利用ください。

練馬1-17-1ココネリ3階 TEL:03-6757-2025 年中無休 9時~22時(12/29~1/3は休業)
事業の実施等により開館時間が変更となる場合があります。

【事前予約が必要な相談内容】

- ① NPO法人の立ち上げ、運営等に関すること
- ② 会計・税務に関すること
専門の相談員や税理士が対応しますので、事前に電話でのご予約をお願いします。



音声コード



facebook



<https://www.facebook.com/Nerimakoryodokoryucenter/>

練馬区立区民協働交流センター フェイスブック 検索



X(旧twitter)



https://twitter.com/kyodo_nerima

練馬区立区民協働交流センター エックス 検索

ホームページ

※過去の地域活動ニュースも掲載中
<http://www.nerima-kyodo.com/>



練馬区立区民協働交流センター

検索

★ 音声でお読みいただけます

「ねりま地域活動ニュース」は音声で伝える「視覚障害者用」録音版を貸し出しています。ご希望の方は一步の会にお申し込みください。

NPO法人点訳・音声訳集団一步の会 練馬区高松2-16-12 TEL:03-3577-5666